

2000年 パリ モーターショー

- 電動PSを中心としたステアリングシステム、
軸受・ユニット製品等を展示 -

Koyo Displayed EPS Steering Systems, Bearings and Units
at Paris Auto Show 2000



世界を代表する自動車ショーのひとつ、パリモーターショーが2000年9月28日から18日間開催された。テーマは「Innovation, new technologies, cars of tomorrow」で革新的な技術・商品の紹介と車本来の楽しさや夢の具現化をテーマとしている。会場内は、ここ数年来の世界的な自動車業界の再編を象徴するかのように提携会社間の一体展示や並列展示などの展示スタイルが一部に見られた。

欧州では1000CCクラスの小型車の需要が活発で各社共それらのクラスを中心に展示しているのが印象的でこれらの車はいずれも注目を浴びていた。

Koyoグループのブースは見本市会場の中央部にある部品館「ホール2 - 1」に位置し、自動車メーカー各社のメインホールにつながる好位置であった。木目を基調に天然芝を敷き詰め地球に優しい製品を提供することをテーマにしたゆとりのある落ち着いた雰囲気のあるブースであった。

ブース内にはABSセンサ内蔵ハブユニット等の軸受製品、電動パワーステアリングを中心とした各種ステアリングシステムが展示され、当社の事業の新しい製品展開の方向について欧州の多くの方々に理解いただき、かつ実際の製品を直に見ていただく良い機会となった。

特にステアパイワイヤシステムの制御を疑似体験できるドライビングシミュレータはフランス国営テレビによる取材が実施されるなど、連日大勢の観客の注目を浴びた。さらに会期中に実施したステアパイワイヤシステムについての技術フォーラムとも相まって当社の技術開発を広く理解していただけたものと思われる。

1. モーターショー概要

開催期間	: 2000年9月28日～10月15日
会場	: パリ市内 ポルト ド ベルサイユ見本市会場
会場面積	: 250000m ²
出展メーカー数	: 30カ国 約700社
プレスデーのジャーナリスト数	: 81カ国 約8500人
訪問者総数	: 143万6351人(期間総数)



メインホール



Koyoブース

2. Koyoグループ会社の出展概要

軸受・ユニット製品

自動車用各種軸受とユニット製品を展示し、環境に対応した長寿命・小型・軽量化やユニット化への取り組み全般を紹介した。

例：センサ内蔵ハブユニット，テンショナ軸受ユニット，アイドラ軸受ユニット，長寿命円すいころ軸受，高速オルタネータ軸受，ターボチャージャー用セラミック軸受，一方クラッチなど



ドライビング シミュレータ

最先端操舵制御のKoyoのSBW(ステアバイワイヤ)システムで車線変更時の他社認知制御，横風制御，低μ路での走行安定性制御を擬似的に体験できる。

会期中約1200名の方々にKoyoの先端技術を体験していただいた。



ステアリング システム

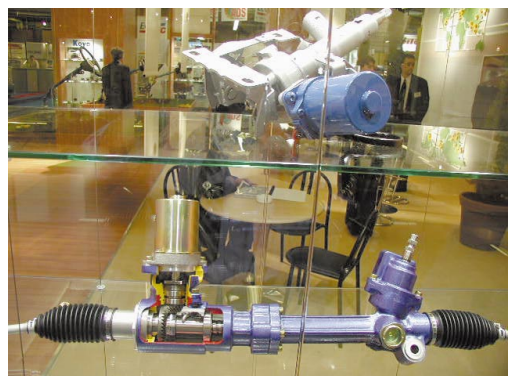
油圧パワーステアリングとコラムタイプ電動パワーステアリング(C-EPS)。

別に電動ポンプ式パワーステアリング(H-EPS)の展示もありシステムサプライヤーとしての当社を印象づけた。



C-EPS, R-EPS

軸力10000Nクラスをターゲットに開発中のラックアシストタイプ電動パワーステアリングシステム(R-EPS)を参考出展(下)。



油圧パワーステアリング

SMI製の電子制御パワーステアリング，ノーマルパワーステアリング。



(ステアリング開発部 佐々木裕人)